

(別紙2) システム機能要件

パターン①：次期森林クラウドシステム構築（現行システムは廃止）

パターン②：森林整備オンライン申請システム構築（現行システムは継続利用）

番号	機能区分	特に重要視する機	概要	パターン①	パターン②
1	基本項目		原則24時間365日サービスの利用が可能であること。	○	○
2			クラウドサービスを用いたシステムとし、データセンターは国内にあること。	○	○
3			利用者のウェブブラウザは、Microsoft Edge、Google Chrome、Mozilla Firefox、Apple Safariの動作保証をすること。（動作保証は最新の安定バージョンを前提とする。）	○	○
4			利用者は、パソコン、スマートフォン、タブレットなど、市場に流通する一般的な端末を利用して、申請・届出等の機能が利用できること。	○	○
5			スマートフォン又はタブレット端末で利用する場合、モバイルアプリによるシステムの利用（申請・届出、GIS機能の利用）ができること。	○	○
6			パソコンやスマートフォン、タブレットなど端末に応じた最適なデザインで表示することができること。	○	○
7			利用者が利用する端末は、Windows、macOSに対応すること。	○	○
8			利用者はIDとパスワードに加え、多要素認証による認証で利用を開始できること。	○	○
9			管理者は利用者のIDとパスワードを設定することができること。	○	○
10			利用者に応じて利用可能な機能を制限でき、管理者は利用者の閲覧・編集権限を付与できること。	○	○
11			操作方法や制度の基本情報など、定型的な質問はFAQやチャットボット等から利用者自身で解決できるよう誘導すること。	○	○
12	申請機能共通	★	<b>申請者はシステム上で申請・届出等の行政手続を行うことができ、審査者は申請者からの申請・届出等に対してシステム上で受付や審査等を行うことができること。</b>	○	○
13			申請・届出等の途中で一時保存・再開できる機能や、過去の入力データの復元利用ができること。	○	○
14			既存の手続きを複製して新しい手続きを作成できること。	○	○
15			入力の誤りチェックや入力の支援を行う機能を有すること。（郵便番号から住所の自動入力、日付には範囲内の数字のみが入るなど）	○	○
16			手続きの申請・届出前に画面イメージが確認できること。	○	○
17			利用者の登録データや申請の受付データがCSV形式で出力できること。	○	○
18			申請データに関連付けされた添付ファイルは、選択又は一括してZIPファイル形式でダウンロードできること。	○	○
19			利用者に対して、手続きの到達、補正指示、差戻し、取り下げ、受付などの申請者と審査者のやりとりがログとして蓄積されること。	○	○
20			申請に当たり、インターネットとLGWAN間で電子データ（PDF、Microsoft Word、Excel等）を送受する場合は、マルウェア対策を講ずること。	○	○
21			利用者側の機能として、テキスト入力、リスト選択、チェックボックス入力や、様式の添付などの申請機能を実現すること。	○	○
22			利用者側の機能として、申請到達や処理状況の確認ができる機能を実現すること。	○	○
23			利用者側の機能として、職員が交付したデータを取得する交付文書取得機能を実現すること。	○	○
24			申請データの入力に誤りがあった場合は、その内容を表示できること。	○	○
25			審査側の機能として、手続き作成機能（テキスト入力、リスト選択、チェックボックス入力や、様式の添付など）を実現すること。	○	○
26			手続きの修正・削除機能を実現すること。	○	○
27			申請データ管理機能（申請データの表示、申請内容の補正指示など）を実現すること。	○	○
28			結果の通知機能（申請データの申請結果を通知する機能）を実現すること。	○	○
29			申請者に対して交付文書の発送機能（複数回）を実現すること。	○	○
30			作成した手続きデータをダウンロード（XML等）及びアップロードできること。	○	○
31			審査者側の機能として、受付等の一括処理ができること。	○	○
32			審査者側の機能として、申請者毎に異なる送信文書を一括して登録できること。	○	○
33			手続き作成の画面は、UIに優れ、簡便に作成できること。登録できる手続き数に制限がないこと。	○	○
34			利用者のアクセスログが表示できること。	○	○
35			各手続の申請件数の推移をデータとして算出し、CSVファイル等により出力できること。	○	○
36			公開中の手続きの修正に対応できる機能があること。	○	○
37			手続きに直接アクセスするURLとして、短縮URLが発行できること。	○	○
38			★ <b>手続きに画像ファイル（TIFF形式、JPEG形式）、地図データファイル（SHAPE形式）を添付できること。</b> ※画像ファイルは施業現場の空中写真、地図データファイルは施業地のポリゴン等を想定している。	○	○
39			手続き毎に通知メール等の送信者のアドレスが設定できること。	○	○
40		条件によりポップアップアラートを表示することができること。	○	○	
41		入力を支援する選択ボックスを独自に設置することができること。	○	○	
42		項目の追加、変更といった簡易な修正であればローコードやノーコードのビルダーを使った職員による内製対応が可能であること。	○	○	
43	地図操作機能		（別紙1）汎用GIS機能が利用できること。	○	○
44		★	<b>SHAPE形式のデータを利用者が自ら入出力でき、利用者による同期処理により、指定した利用者とシステム上で共有できること。</b>	○	○
45		★	<b>ラスターデータ（TIFF形式、JPEG形式、PNG形式）を利用者が自ら入出力できること。</b> ※入力可能なファイルサイズに制限がある場合は、回答書に具体的な数値を記載ください。	○	○
46			利用者が新規にレイヤを追加でき、指定した利用者とシステム上で共有できること。	○	○
47			背景図として森林基本図、国土地理院の数値地図（国土基本情報）、航空写真等を利用できること。	○	○

(別紙2) システム機能要件

パターン①：次期森林クラウドシステム構築（現行システムは廃止）

パターン②：森林整備オンライン申請システム構築（現行システムは継続利用）

番号	機能区分	特に重要視する機	概要	パターン①	パターン②
48	森林簿・森林計画 図管理機能		利用者が自ら森林簿（CSV形式）及び森林計画図（SHAPE形式）を取り込むことができること。	○	○
49			過去5年以上の森林簿及び森林計画図を表示できること。	○	
50			森林簿と森林計画図が相互検索できること。	○	○
51			登録された森林簿を任意の項目で検索でき、検索結果を一覧で出力できること。	○	○
52			登録された森林簿を条件式により検索でき、検索結果を一覧で表示できること。	○	○
53			森林資源構成表をはじめ地域森林計画の編成で必要となる集計表をCSV形式で出力できること。	○	
54			定期的確定処理として、森林簿の林齢を加算の上、年齢、樹高、材積、成長量を加算後の林齢に合わせて自動更新できること。	○	
55			定期的確定処理として、森林簿及び森林計画図を確定版として複製し、修正版のデータと置き換えできること。	○	
56			森林簿及び森林計画図の追加・削除に際し、転出入の別・転出入前後の森林以外の土地の用途に関する情報を記録できること。	○	
57		上記、転出入の記録に対し任意項目による検索ができ、検索結果の一覧を表示・出力できること。	○		
58	市町村森林整備計 画管理機能		市町村森林整備計画で定める公益的機能別施業森林の情報をシステムで管理（編集・閲覧）できること。	○	
59			利用者が公益的機能別施業森林の属性・図形情報を入力できること。	○	
60			公益的機能別施業森林の台帳情報と図形情報が相互検索できること。	○	
61			登録された公益的機能別施業森林の情報を任意の項目で検索でき、検索結果をCSV出力又は一覧出力できること。	○	
62			「地域森林計画編成機能」との連携ができ、森林簿に反映できること。	○	
63	森林経営計画管理 機能	★	利用者がシステム上で森林経営計画を作成することができること。	○	○
64			利用者がCSV形式で作成した森林経営計画をシステムに取り込み、提出できること。	○	○
65			利用者が森林経営計画の対象区域をシステム上の森林簿又は森林計画図から設定できること。	○	○
66			利用者が設定した対象区域において、森林簿及び森林計画図の情報(森林経営計画の作成に必要なものに限る)を自動で取得できること。	○	○
67			利用者が作成した森林経営計画について、システム上で適否判定できること。	○	○
68			森林経営計画の作成者が本システムにより認定権者（市町村又は県）に森林経営計画を提出できること。	○	○
69			認定権者が本システムにより森林経営計画の作成者から提出された森林経営計画を受け取り、認定できること。	○	○
70			登録された森林経営計画をシステム上で管理（閲覧・編集）できること。	○	○
71			登録された森林経営計画の情報を任意の項目で検索でき、検索結果を一覧出力できること。	○	○
72			登録された森林経営計画について、システム管理者が権限を与えた利用者が編集できること。	○	○
73			利用者が森林経営計画の施業履歴を追加・修正できること。	○	○
74			「造林補助事業管理機能」との連携ができること。	○	○
75			「施業履歴管理機能」との連携ができること。	○	○
76	造林補助事業管理 機能	★	システム上で造林補助事業に係る申請を行い、システム上で申請情報を管理（閲覧・編集）できること。	○	○
77		★	造林補助申請に当たっては、オルソ画像（100MB程度）及び施業地の位置データ（SHAPE形式）を添付でき、施業地の位置データはシステム上で管理（閲覧・編集）できること。 ※添付可能なファイルサイズに制限がある場合は回	○	○
78			利用者が造林補助事業の属性・図形情報を入力できること。	○	○
79			造林事業の図形追加に際し、他の主題図から複製による追加登録及び別途取得したshapeファイルを登録できること。	○	○
80			造林補助事業の台帳情報と図形情報が相互検索できること。	○	○
81			登録された造林補助事業の情報を任意の項目で検索でき、検索結果を一覧出力できること。	○	○
82		★	利用者がシステム上で造林補助事業に係る補助金額等の計算ができること。	○	○
83		★	管理者がシステム上で造林補助事業に係る補助金額の単価設定ができること。	○	○
84			システム上で申請のあった補助金の執行状況が確認できること。	○	○
85			Excel形式又はCSV形式のデータをインポートして台帳情報の一括更新ができること。	○	○
86		「森林経営計画管理機能」との連携ができること。	○	○	
87		「施業履歴管理機能」との連携ができること。	○	○	
88	施業履歴		利用者が施業履歴の情報を登録し、システム上で管理（閲覧・編集）できること。	○	○
89			利用者が施業履歴の属性・図形情報を入力できること。	○	○
90			施業履歴の台帳情報と図形情報が相互検索できること。	○	○
91			登録された施業履歴の情報を任意の項目で検索でき、検索結果を一覧出力できること。	○	○
92			施業履歴の図形追加に際し、他の主題図からの複製による追加登録及び別システム等で作成したSHAPE形式のデータを登録できること。	○	○
93			「森林経営計画管理機能」との連携ができること。	○	○
94			「造林補助事業管理機能」との連携ができること。	○	○
95			「伐採及び伐採後の造林の届出（伐採届）管理機能」との連携ができること。	○	
96	林地台帳管理機能		利用者が林地台帳及び林地台帳地図を修正できること。これらの修正時に整合を保つためのチェック機能を設けること。	○	
97			林地台帳と林地台帳地図を相互検索できること。	○	
98			登録された林地台帳の情報を任意の項目で検索でき、検索結果を一覧出力できること。	○	
99			林地台帳の更新に当たっては、CSV形式のデータをインポートして森林所有者及び地番の一括更新ができること。	○	
100			「森林の土地の所有者届出管理機能」との連携ができること。	○	

(別紙2) システム機能要件

パターン①：次期森林クラウドシステム構築（現行システムは廃止）

パターン②：森林整備オンライン申請システム構築（現行システムは継続利用）

番号	機能区分	特に重要視する機	概要	パターン①	パターン②
101	森林の土地の所有者管理機能		利用者が森林の土地の所有者届出の情報をシステム上で登録し、管理（閲覧・編集）できること。	○	○
102			利用者が森林の土地の所有者届出の属性・図形情報を入力できること。	○	
103			森林の土地の所有者届出の台帳情報と図形情報が相互検索できること。	○	
104			登録された森林の土地の所有者届出の情報を任意の項目で検索でき、検索結果を一覧出力できること。	○	
105			「地域森林計画編成機能」との連携ができ、森林簿に反映できること。	○	
106			「林地台帳管理機能」との連携ができること。	○	
107	伐採届管理機能		利用者が伐採届の情報をシステム上で登録し、管理（閲覧・編集）できること。	○	
108			利用者が森林の伐採届の属性・図形情報を入力できること。利用者の入力後、要件に適合しない項目のチェックができること。	○	
109			伐採届の台帳情報と図形情報が相互検索できること。	○	
110			登録された伐採届の情報を任意の項目で検索でき、検索結果を一覧出力できること。	○	
111			利用者が伐採届に係る図形情報を登録し、本システム上で市町村に届出できること。	○	
112			伐採届には、PDF形式のデータが添付できること。	○	
113			Excel形式又はCSV形式のデータをインポートして台帳情報の一括登録ができること。	○	
114			利用者が届出受理後の伐採及び造林の実施状況の入力ができること。	○	
115			市町村の利用者が伐採届に係る進捗状況等（申請・受理、伐採状況、造林状況等）を管理できること。	○	
116			「地域森林計画編成機能」との連携ができ、森林簿に反映できること。	○	
117			「施業履歴管理機能」との連携ができること。	○	
118	測量成果管理機能		測量成果の情報を登録し、システムで管理（閲覧・編集）できること。	○	
119			利用者が測量成果の属性・図形情報を入力できること。	○	
120			測量成果の登録にあたっては、GPSで計測したデータを取り込めること。	○	
121	森林経営管理制度管理機能		森林経営管理制度の情報を登録し、システムで管理（閲覧・編集）できること。	○	
122			利用者が森林経営管理制度の属性・図形情報を入力できること。	○	
123			森林経営管理制度の台帳情報と図形情報が相互検索できること。	○	
124			登録された森林経営管理制度の情報を任意の項目で検索でき、検索結果を一覧出力できること。	○	
125			利用者が対象区域を台帳（森林簿又は林地台帳）又は地図（森林計画図又は林地台帳地図）から設定できること。	○	
126			利用者が設定した対象区域において、林地台帳及び林地台帳地図の情報を自動で取得できること。	○	
127			利用者が設定した対象区域において、森林簿の情報（樹種等意向調査に必要なものに限る）を自動で取得できること。	○	
128			利用者が設定した対象区域に管理名を付与し、管理できること。	○	
129			利用者が意向調査用に各種情報を一覧出力できること。	○	
130			利用者が森林経営管理制度に係る進捗状況等（意向調査結果、経営管理権集積計画、施業履歴）を管理できること。	○	
131			上記の進捗状況等の管理にあたっては、CSV形式のデータをインポートできること。	○	
132	路網管理機能		林道・作業道の情報を登録し、システムで管理（閲覧・編集）できること。	○	
133			利用者が林道・作業道の属性・図形情報を入力できること。	○	
134			林道及び森林作業道の台帳情報と図形情報が相互検索できること	○	
135			登録された林道・作業道の情報を任意の項目で検索でき、検索結果を一覧出力できること。	○	
136			林道は、林道利用区域を設定し、区域内の森林資源構成表の作成ができること。	○	
137	保安林管理機能		保安林の情報（指定・解除、保安林内作業許可、施業履歴）をシステム上で登録し、管理（閲覧・編集）できること。	○	
138			利用者が保安林の属性・図形情報を入力できること。	○	
139			保安林の台帳情報と図形情報が相互検索できること。	○	
140			登録された保安林の情報を任意の項目で検索でき、検索結果を一覧出力できること。	○	
141	林地開発管理機能		林地開発の情報をシステム上で登録し、管理（閲覧・編集）できること。	○	
142			利用者が林地開発の属性・図形情報を入力できること。	○	
143			林地開発の台帳情報と図形情報が相互検索できること。	○	
144			登録された林地開発の情報を任意の項目で検索でき、検索結果を一覧出力できること。	○	
145	航空レーザー測量成果管理機能		レーザー航測データで得られた単木情報を任意の範囲で図上検索し、情報を一覧表示できること。	○	
146			レーザー航測データで得られた単木情報を任意の範囲で図上検索し、CSV形式で出力できること。	○	